

2007 年度

科目名 看護学	対象学科・学年 薬学部薬学2回生	担当者 中田 智子
授業テーマ 健康のさまざまなレベル（健康時、障害・疾病時、終末時など）に応じた看護方法を理解し、看護についての理解を深める		
授業の概要と目標 私たちは誕生から死に至る一生において、様々な病気や異常、心身の不調を感じ、医療・看護を必要とする状況になります。疾病時、病院においての医師を助ける看護の役割は比較的知られていますが、健康時の看護も含めて、日常生活に欠かせない行為としての看護の機能と役割・看護の概念、意義と健康レベル別の看護、看護倫理、関連職種との連携等看護の基本的な領域について学ぶ		
評価方法 レポートおよび筆記試験		
テキスト 看護学概論	著者 松木光子編集	出版社 H I ROKAWA
参考書 看護学概論	著者 著者代表：藤崎郁	出版社 医学書院
授業スケジュール・内容 1. 看護とは／看護の語源、看護のイメージ、看護の概念、定義 2. 看護の機能・役割／ナイチンゲールについて、看護の理念、看護の独自の機能とは 3. 看護倫理／職業としての倫理、倫理規定 4. 患者の権利／患者の権利とは、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 5. 看護の専門性／専門性とは、看護理論 6. 関連職種との連携／看護職とは、関連職種、連携の必要性、連携方法 7. 看護活動の場／活動の場とは、医療機関・施設・学校・地域・産業 8. 健康レベル別の対応1) 9. 健康レベル別の対応2) 10. 健康レベル別の対応3) 11. 看護活動の実際 12. 母子保健対策 13. 小児と看護 14. 家族看護 15. 老年看護		